

2004
→ 2005

予算概要

平成16年度 田原市の予算

田原市として初の予算編成となる平成16年度予算は、新たな心構えでまちづくりを進めるため積極的な財源の確保に努めました。その結果、一般会計、特別会計、水道事業会計の11会計で予算総額401億4004万7千円となり、合併前の田原町・赤羽根町の平成15年度当初予算合計額と比較して、11・8%の増加となりました。

一般会計

歳入

は、財政の根幹を支える市税が121億円余となり、前年度比5・1%の増加となっています。国庫支出金は、国の「三位一体改革」の影響により減少、一方県支出金は、合併支援措置の特例交付金2億5000万円を計上したため増加しています。そのほか、再開発複合施設棟の床売り払い収入などの影響で、財産収入の金額が大幅に増加しています。

歳出

は、これまで懸案となっていた市街地再開発事業の完了に向けての経費や公共施設の耐震補強など災害対策に要する経費、市民館整備など地域振興の経費に重点的に配分したため、総務費・商工費・教育費などが増加しています。

特別会計

給食センター給食費特別会計については、赤羽根地域の小中学校における単独調理の給食経費を組み込んだため大幅に増加、介護保険特別会計も、平成15年度の実績見込みから介護給付費の増額を計上したため増加しています。また、新たに中心市街地商業等活性化事業特別会計を設置します。これは、7月に完成予定の再開発施設のうち、公共的な施設を拠点に、中心市街地の商業の活性化にぎわいづくりを目的としたもので、今年度は再開発施設地下駐車場の取得費などを計上しています。

水道事業会計

合併効果により経常経費の効率化が図られ、若干減少しました。